

フランソワ・オランド
フランス共和国大統領

1954年8月12日、ルーアンに生まれる。4子あり。ジャーナリストであるパートナーのヴァレリー・トリエルヴェレル女史は、事実婚の配偶者。

社会党第一書記（1997年～2008年）、チュル市長（2001年～2008年）、コレーズ県選出国民議会議員（1988年～1993年、1997年～2012年）、コレーズ県議会議長（2008年～2012年）を歴任。

高等商業学院（HEC）、パリ政治学院卒業。1980年には、国立行政学院（ENA）（ヴォルテール期）を卒業。

1979年、社会党に入党。ENA卒業後の1980年、会計検査院傍聴官となる。同時期に、パリ政治学院講師を務める。

1981年、フランソワ・ミッテランが選出された大統領選挙の後、大統領府補佐官となる。1981年6月の国民議会議員選挙にコレーズ県から立候補。

1983年、ピエール・モロワ内閣において連続して報道官を務めたマックス・ガロ及びロラン・デュマの首席補佐官に任命される。1984年には、会計検査院主任検査官となる。

フランソワ・ミッテラン大統領再選後に行われた1988年の国民議会議員選挙に際し、コレーズ県第1区から国民議会議員に選出される。

1988年から1991年にかけて、パリ政治学院において経済学の教授を務める。

1993年、国民議会議員選挙に落選。ジャック・ドロール主宰「テモワン・クラブ」議長に就任し、同職を1997年まで務める。

1994年11月、社会党書記（経済問題担当）に就任。1995年、リオネル・ジョスパンにより、社会党スポークスマンに任命される。

1997年、左派連合の勝利とともに、コレーズ県から再度国民議会議員に選出され、社会党第一書記となる。

2011年3月、正式に社会党選出の大統領候補に立候補し、2011年10月に党内選挙に勝利。

2012年5月、第5共和国第7代大統領に就任。